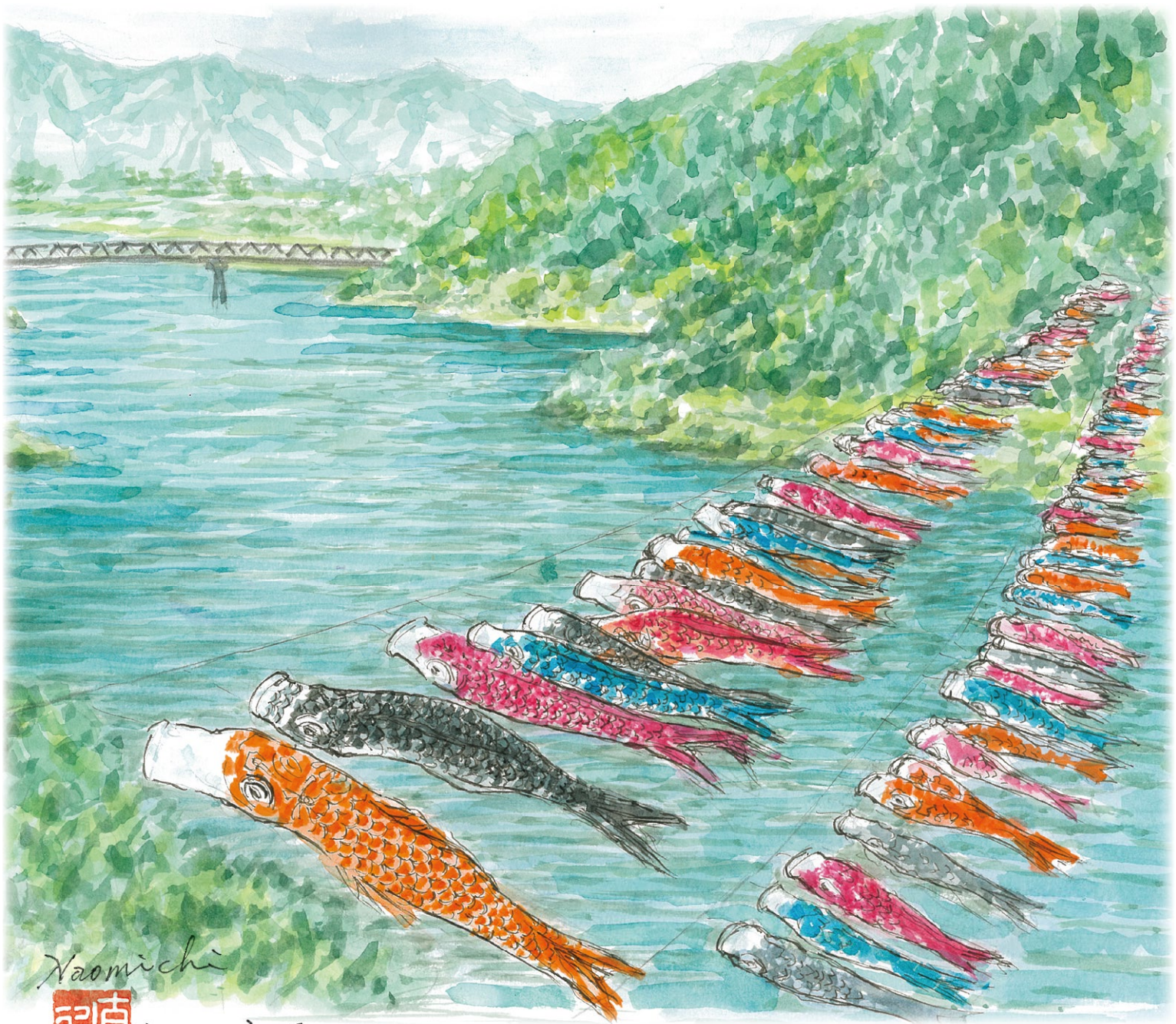


JAしまねびより

2017
5
May Vol.14

特集 島根のいいもの再発見!! 「スナッフエンドウ」 島根おおち地区本部



Naomichi



江の川に泳ぐ鯉のぼり

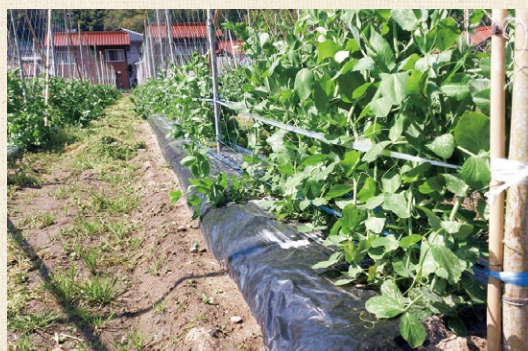
島根には誇れる農産品がたーっくさん！
島根のいいもの再発見!!
 直撃・生産者インタビュー



東西に長く広がり、海も山もある自然環境豊かな島根県。島根には、胸を張って誇れる農産品が実は多種多様にあるんです。毎月、その農産品を紹介、生産者の生の声を聞いていきます！

【スナップエンドウ】

5月は島根おち地区本部。江津市桜江町でスナップエンドウを生産する、佐々木啓裕よしひろさんにお話をお伺いしました。



いつからスナップエンドウを栽培しておられますか？

今年で2年目になります。祖父が長年、サヤエンドウを栽培しているなど、小さい頃から農業の手伝いや自然と触れる環境がありました。就農してからは、スナップエンドウの他に、スイートコーン、ごぼう、人参、広島菜、なすを8反から1町の規模にて一人で作っています。サヤエンドウに比べスナップエンドウは比較的価格が安定しており、収量と単価を考慮し野菜の少ない時期に栽培できるスナップエンドウ栽培を始めています。



スナップエンドウはどのように栽培するのですか？

ツル性なので畑に竹の支柱を立て約2mの高さでネットを畑に張ります。スナップエンドウは病害虫や雑草等に強いほうではないので、土はマルチで覆って12月に種を播き、5センチ程度まで芽が伸びた状態で越冬させます。寒さに当たると丈夫で大きな花芽がたくさん付きます。4月中旬に下のほうから花芽が付いた後に豆サヤができ、下旬から順々に収穫、5月までの1カ月で集中して出荷します。昨年は全部で約500kg、主に広島市場に出荷しました。





日々の管理としては、肥料切れを起こさないようにするのと、雨が長く降らない時には灌水（かんすい）をする事です。ある日突然、枯れているという事があるので、毎日

日々の管理や大変なこと などありますか？



注意深く観察しています。一番大変な時期は収穫です。手で全部のスナップエンドウを摘み取っていかなければならず、時間と手間を取る作業です。収穫は労力のいる作業ですが、収量よりも規格に見合ったモノがしつかり出来ていれば嬉しい限りです。また、スナップエンドウは連作障害になりやすい野菜です。同じ場所で作ることが難しいので、6年から7年のサイクルで数種類の野菜を輪作しています。

農業従事者の高齢化が進む中、就農された感想はいかがですか？

夏に人参やナス、ゴボウなどを育て、秋には広島菜、12月に人参やごぼうの収穫の時期に合わせてスナップエンドウを定植させ、1年間切れ目なく野菜を育てています。どのような栽培計画で輪作すれば長期間収穫ができて、一人で無理のない作業ができるか、また収量を確保できるかを自分自身で考えるのは、楽しくやりがいを感じます。

スナップエンドウ 一口メモ

スナップエンドウはアメリカで作られた品種で、グリーンピースの豆の甘みと、サヤエンドウのシャキシャキ感を一緒に味わえるのが特徴。ビタミンCやカリウム、ベータカロチン、カルシウムなど、栄養価高いバランスのよい野菜の一つ。サヤごと食べれるので、食物繊維もしっかり摂ることができる。鮮やかな緑色が、料理に彩りを加え、また熟してもサヤが固いので、茹でたスナップエンドウをマヨネーズなどの調味料を付けて食べたり、炒め物に入れるのが美味しく、広く親しまれている。



最後に、今後の抱負を聞かせてください。

桜江町では昔から比較的単価が高く、冬から春にかけて



負担なく栽培できるスナップエンドウを栽培している方が多くいらっしゃいましたが、担い手不足等により、今では5、6人程度しか栽培していません。今後の目標としては、積極的に栽培面積を広げ、4年後にスナップエンドウを1反の規模で栽培したいと考えています。



雲南

水稻防除の負担軽減に向けて

雲南地区本部と雲南農協青年連盟(農青連)は3月末、ドローン(小型無人飛行機)の管理委託契約の調印式を行いました。ドローンでの防除システムを確立し、水稻等の病害虫防除の負担軽減が期待されます。

デモ飛行では、オペレーターが操縦機から手を放しても衛星利用測位システム(GPS)機能で姿勢を維持することなどを確かめました。ワンタッチで着脱できるユニットにより液剤散布装置と粒剤散布装置を簡単に交換でき、液剤8ℓ、粒剤6kgを散布できます。

同地区本部加藤博樹本部長は「地域振興の一環として今回のドローン防除を広めて欲しい。地域の農業を守るためにも農青連には期待をしている」と話し、農青連坪倉誠委員長は「ヘリコプターでは適さないような所でも、このドローンがあれば散布できる。農青連の取り組みをドローンと共に飛び上がらせたい」と力強く語りました。



⑤加藤本部長からドローンを操作するプロボを受取る④坪倉委員長と⑥石原公夫副委員長

隠岐

TACキックオフ大会を開催

隠岐地区本部と隠岐どうぜん地区本部は4月24日、農家組合員の多様なニーズに迅速・的確に対応し、農業所得の増大やサービス向上を図ることを目的に、TACキックオフ大会を開催しました。

TAC(タック)とは、地域農業の担い手に向くJA担当者のごことで、今回新たに両地区本部の2人がTACとなり、JAしまね全体で24人の体制ができました。

隠岐支庁6F会議室で開催した同大会では、はじめに本店事務局からTACの全国情勢や活動の目的、TACシステムについて説明し、質疑応答では、両地区本部での目指すべきTACの姿について活発な意見交換がなされました。

その後、28年度活動報告、29年度活動計画についても協議し、最後に島根県農林水産部より島根和牛の現状について情報提供を受け終了しました。

今後、島内担い手農家、畜産農家等への訪問活動を通じ、多様なニーズに応え、より一層組合員の所得増大、サービス向上に繋がるよう取り組んでまいります。



くにびき

沖縄で販売促進

島根県産米「つや姫」大人気!!

島根県産米「つや姫」の認知度向上と販路拡大を目的に、JAしまねと米卸業者などが4月1日・2日、イオン琉球の那覇店と南風原店^{はえぼる}で、試食販売を行いました。

米の生産量が少ない沖縄県本島では、沖縄県内の卸売業者が全国各地の米を販売しています。

JAしまねではこれまでに12回、イオン琉球で試食販売を実施。その結果、県内産「つや姫」に対する支持を得て、固定客が増加し、毎月イオン琉球で売上トップの人気商品に成長しました。

今回、くにびき地区本部から田中鈴夫副本部長をはじめ営農経済部の職員が参加し、対面販売でアピール。2日間で、目標の600袋(5kg入り)を大きく上回る650袋を販売しました。

同行した米穀畜産課恩田直幸係長は「沖縄県での支持率は高く、好評を得ている。今後も安定供給が図れるよう、販売促進に取り組みたい」と熱く語りました。



やすぎ

カレーにイチゴ?!

「いちごカレー」を新発売

やすぎ地区本部は4月15日、特産のイチゴを使ったレトルトカレー「あらえっさいちごカレー」の販売を開始しました。甘酸っぱいイチゴと相性の良い県内産の豚肉を使用したフルーティーなカレーで、特産のイチゴのPRと更なる消費拡大を目指しています。

今回は主力品種である「紅ほっぺ」のペーストをカレーに使用。同地区本部は、栽培生産の過程で生じる規格外品を活用するため、市内の福祉施設にイチゴのペースト加工を委託し、市内外の食品製造事業者と連携して、このペーストを使用したイチゴの加工品の商品化に力を入れています。

JAの担当者は「いちごカレーを通じて安来のイチゴを知ってもらおうきっかけにしたい」と話しました。価格は一箱200g入り580円(税込)で、市内3か所のJA農産物直売所で販売しています。



JAの総合力で生活支援

斐川地区本部は4月14日、荘原支店入り口で、ガス住宅課職員による「ライフサポート24」のPR活動を行いました。

同地区本部は、高齢者を支援するために㈱セーフティネクストが開発した緊急通報システム「ライフサポート24」を導入して1年を迎えます。

このシステムは、赤色の非常用ボタンを押すと警備会社「ALSOK山陰」が対応し、白色の生活支援ボタンを押すと同地区本部にメールが入り担当者が電話で対応します。食品や日用品の買い物代行、水漏れ電化製品のトラブルなどさまざまな要望に応じ、内容によっては職員が自宅を訪問し、専門的な技術が必要な場合は無料で業者を紹介します。

現在斐川町の約110世帯が加入しており、これまでには、大風で壊れた雨どいの修理や買い物代行などの依頼を受け早急に対応することで喜ばれています。

来店者からは「日中は一人になることが多く、将来的にこういったサービスが増えていくとうれしい」という声もありました。



説明をする担当職員

JA職員がひな人形に扮する

石見銀山地区本部の職員が3月25日、大田市大森町で開かれた「春うららひなまつり」に参加し、ひな人形に扮しました。おひなさまやお内裏様、三人官女に扮して、「おひなさま行列」を来場者の前で披露。「すぐきれいで、とても華やか」と評判を呼びました。

まつりは、同市大田町の大田商工会議所女性会が開催。これまでは同会議所を会場にしていたが、7月に「石見銀山遺跡とその文化的景観」が世界遺産登録10周年を迎えるため、大森町の町並みに会場を変更しました。訪れた人はひな飾りの展示や茶席、等身大おひなさまとの撮影会を楽しみました。

出演したのは宅和麻衣子さん、西村春美さん、福間悠生さん、山下里穂さん、若槻ゆうさん。貴重な経験をした5人は「長時間静止するのが辛かったが、とても楽しかった」「化粧を初めてしてもらった。一生の思い出になった」と話していました。



JA職員による等身大のおひなさまたち

交通安全を願って 春の街頭指導を実施

隠岐どうぜん地区本部はこのほど、春の交通安全運動の一環として街頭指導を行い、管内住民に交通安全を呼びかけました。

島根県では、「広げよう 事故ゼロしまねの おもいやり」をスローガンに、高齢者の交通事故防止・子供の交通事故防止・飲酒運転の根絶など5項目を重点運動として、4月6日から15日までの10日間、交通安全運動が実施されました。

これにあわせ、同地区本部では、西ノ島町と海士町内にテントを設置し、地元保育園児や保護者、交通安全対策会議委員らと一緒に交通安全のパンフレット等を運転者や通行者に配布しました。

また、4月15日に浦郷警察署が知夫村ふれあい広場で開催した「知夫村交通安全グランドゴルフ大会」に夜光反射材・シールを参加賞として提供し、交通安全を呼びかけました。



シーズン到来！ ラピタビアガーデン オープン！

出雲地区本部では毎年恒例となっている「ラピタビアガーデン」の営業を4月14日、ラピタ本店屋上で開始しました。小さなお子様から年配の方まで幅広く楽しんでもらえる交流の場となることを目的に開催し、今年で23年目を迎えます。

初日は仕事帰りの方を中心に約200人が来場。オープニングセレモニーでは、JAしまね出雲女性部北浜支部の「かもめ教室」が踊りを披露したほか、ライブや紅白もちまきなどの催しもあり、オープンに花を添えました。

ビアガーデンは9月30日までの期間中、午後5時半から午後9時まで毎日営業します。常時60種類の料理を準備し、バイキング方式で飲み放題、食べ放題となっています。今年最後の金曜日は3時半から開場し、5時までに入場すると1,500円で2時間飲食ができる「プレミアムフライデー」を新たに企画しました。季節に合わせた料理や楽しんでいただける企画、お得な企画を多数用意し、皆様のご来場を心よりお待ちしております。



ご予約・お問い合わせは
生活部プライダル課 TEL0853-21-6063まで。
(お問い合わせ時間/9:30~20:00)

西いわみ

JA女子大生が 煎茶の入れ方を学ぶ

西いわみ地区本部は4月5日、JA女子大学第9回目の講義として「煎茶の入れ方教室」を開きました。

益田市元町の益田市立市民学習センターで行った教室では、学生10人とそのお子さん7人が出席。松月流島根西支部の松崎幸代先生をお招きし、「おいしい煎茶の入れ方」と「来客の際の対応」などを主に学習しました。松崎先生からは、煎茶の入れ方だけでなく、煎茶を家庭で楽しむことで、家族と穏やかな時間を作ることが大切だということも教えていただきました。

参加者は「普段、お茶を飲むというと水分補給としてしか認識がなかったが、今回参加してお茶を楽しむということを学んだ」「春休み期間中ということもあり、子どもと一緒に参加できて楽しく学べた」と話しました。

次回は6月に益田市飯田町のJA多品目選果施設を見学する予定です。



島根おおち

29年度島根おおち女性部 総会を開催

島根おおち女性部は4月5日、邑智郡邑南町の矢上交流センターで第22回通常総会を開き、28年度の活動報告と29年度の活動計画の報告を行ないました。

29年度計画では、食と農・地産地消運動の促進、地元農産物の消費拡大のため地域に対する情報発信の促進を目指しており、青年連盟との連携を強化して、管内保育園児と行うカレーの日や芋ほり交流会などを行なうふれあい農園の開催、ケイトウ栽培のさらなる拡大に向けた活動の展開を目指します。

総会前には、28年度ケイトウ栽培の優良生産者表彰を行ない、羽須美支部・今田宮農女性部・石見支部・川角和子氏・谷口順江氏の3団体・2個人を表彰しました。

寺内洋子部長は「28年度は食農教育や6年目を迎えたケイトウ栽培を通じ部員の絆・交流を深めてきた。ケイトウ栽培も地区本部を超えた広がりを見せている。29年度においてもたくさんの活動・交流を通じ女性部を盛り上げていきたい」と話しました。



本店

第11回全国和牛能力共進会に向け 島根県決起大会を開催

第11回全国和牛能力共進会島根県出品対策本部は3月22日、出雲市の島根ワイナリーで第11回全国和牛能力共進会島根県決起大会を開催しました。

この決起大会は、今年9月7日から10日に宮城県仙台市で開催される同共進会に向けて開催したもので、今回の全共キャラクターである「牛政宗くん（うしまさむねくん）」をゲストで招き宮城県の紹介をいただくとともに、島根県生産者代表の和泉英富さんが決意表明を行い、全共への意気込みを再確認しました。

また、同共進会に向けて島根県応援キャラクターの公募を行い、多数の応募の中から松江農林高等学校の犬山樹里さんの作品「しま牛くん（しまうしくん）」を最優秀賞に選び、表彰しました。「しま牛くん」は、県代表ユニフォームをはじめ様々な場面で登場しますので、よろしくお願いたします。



島根県応援キャラクター
「しま牛くん」



キャラクターを作成した犬山さん



決意表明する和泉さん

いわみ中央

浜田柿加工場が竣工

いわみ中央地区本部は4月5日、浜田柿加工場の竣工式を行いました。来賓に島根県農林水産部の長野正巳課長や久保田章市長をはじめとして多くの関係各位を招きテープカットを行いました。

この施設は、JA統合を機に、生産者からの発案により統一規格を検討してきたもので、統合メリットを生かし、旧JA枠を超えて西条柿を受け入れ、貯蔵施設などの広域利用を進める事で増産に結び付け、新たな販路開拓にもつなげる期待をもって新設しました。

井上宗治地区本部長は、「JA統合により、硫黄燻蒸を施さないあんぼ柿の統一ブランド化計画を進め、国の「平成28年度産地パワーアップ事業」と浜田市の「農業拠点施設整備事業補助金」のご支援で完成をみた。この施設を西部の拠点施設として位置づけ、30万個の生産を目標に、所得向上と生産拡大を図りながら、今以上に西条柿の産地化の推進と地域農業の発展に努めていきたい」とあいさつしました。



ご案内

平成
29年度

「JAしまね農業振興支援事業」

組合員の皆さまの農業所得の増大、農業生産の拡大の実現に向けて、以下のとおり「JAしまね農業振興支援事業」を実施します。

国や県、市町村と連携して島根農業および農村の活性化に向けた取り組みを強化するとともに、新規就農者の確保育成に努めます。



1. 事業内容

- (1) 魅力ある産地づくり支援事業
- (2) 島根農業モデル対策支援事業
- (3) 元気な地域づくり支援事業
- (4) 担い手と新規就農者（Uターン者を含む）に対する支援
- (5) 担い手の継続営農に向けた巡回人間ドックの受診支援

2. 申請方法

事業の詳細及び申請手続き等は、各地区本部の営農担当部署にお問い合わせください。

ご案内

平成
29年度

地域貢献・地域活性化支援事業

地域の歴史・自然・文化等を活かした『地域力』発揮による「元気な地域づくり」を支援するために、以下のとおり「地域貢献・地域活性化支援事業」を実施します。

地域貢献・地域活性化に取り組むグループ・団体等の多様な取り組みを表彰、普及支援することにより『地域力』の向上を支援し、島根県内の地域活性化に努めます。

1. 事業内容

- (1) 地域活性化に取り組むグループ・団体等の表彰
- (2) 地域活性化のための活動を普及、維持・拡大または開始するための資金支援

2. 予算総額（支援総額）

700万円

3. 募集期間

平成29年5月15日(月)～7月31日(月)まで

4. 申請方法

お住まいの地区本部へ申請ください。

事業の詳細は、地区本部のくらしの活動担当部署にお問い合わせいただくか、JAしまねのホームページ (<http://ja-shimane.jp/>) でご確認ください。





ふれあい ニュース

雲南管内の
旬な情報をお届け!

UNNAN
FUREAI
NEWS

UNNAN
FUREAI
NEWS

01 食育活動で地域貢献 育てた野菜を調理

JAしまね雲南女性部うし
お料理クラブ(富山邑子代表)
によるクッキングイベントが好
評です。30年以上続く食育活動
で、年2回開催。地元の児童が参
加する同クラブ主催の野菜栽培
教室で野菜を育て、それを調理
することで農家への感謝の気持
ちを育み、農業への関心を深め
ます。

4月4日に海潮交流センター
で同イベントを開催し地元の児
童約30人が参加。メニューは、家
の光協会が発行している「家の
光」に掲載されていた料理など
を選び、カップ寿司、ニラとカニ
カマを入れた卵焼き、野菜が
たっぷり入ったポトフ、デザート
にみかんの寒天ゼリーの計4種
類を作りました。児童たちは、

透明カップに酢飯と桜デンプや
鶏そぼろを層になるように詰
め、菜の花、錦糸卵、レタス、サー
モンなどを入れ、旬と彩りのあ
る個性あふれたカップ寿司を作
りました。



▲カップずしを作る子どもたち

UNNAN
FUREAI
NEWS

02

パプリカ栽培 1番を目指して

飯石郡飯南町ではメロン、パプ
リカ、トマトの産地化に向け町を
挙げて取り組んでいます。同町花
栗の吉川健司さん(38)は、4月22
日パプリカの定植を開始しまし
た。5月にも定植を行い7月下
旬から11月頃までが収穫時期。
約10アールのハウスには「スベ
シャル(赤色)」と「フェアウエイ
(黄色)」が育てられており、吉川

さんは「パプリカは宝石と呼ばれ
るほど綺麗な果実。魅了されて
作り始めました」と話しました。
吉川さんのパプリカは県内では
ラピタや直売所、県外では大
阪や神戸などにも出荷されてお
り人気を博しています。吉川さん
は「作る期間は短いですが、大振りだ
色や艶も自信があります。飯南
町のパプリカをアピールし、県内



▲定植作業をする母親の裕江さん

1番を目指します」と意気込み
を見せました。

なおこの内容は、去る5月6
日(土)付の日本農業新聞にも掲
載されましたが、地域名に誤り
がございました。深くお詫び申し
上げます。

UNNAN
FUREAI
NEWS

03

菜園講座開講 初心者も応援

雲南地区本部は4月5日、平
成29年度菜園講座開講式およ
び第一回の講習会を行いました。
開講式で上田副本部長は

「食はいのちの礎であり、安全安
心な野菜を作るとともに、愛情
を持って作って頂きたい。また、
皆さんの力で、活気あふれる講
座にして頂きたい」と話しまし
た。講師は同地区本部農産課の
高橋英次指導員が務め、野菜の
成長過程における肥料のタイミ
ングや量を人の一生に例えたユ

ニークな説明をしました。自然
の理と数字に重きを置いた栽培
方針で野菜を管理する方法を
解説しました。
高橋指導員は「野菜を育てる
うえで大切なものは、太陽と水
と酸素です。人間はお手伝いを
しているだけ。生き物として精一
杯生きていく野菜を周りと同じ
杯、見守ってあげて下さい」とア
ドバイスしました。

この講座は、産直会員の新規
開拓と新たに農業を始められる

方を対象とした初心者向けの講
習で、4月〜11月まで全9回を
予定しています。



▲肥料の撒き方のポイントを説明する指導員と受講生

04

サクランボの授粉作業がスタート

雲南地区本部の果樹技術指導センター（雲南市三刀屋町）で4月13日、サクランボの授粉作業が始まり、ハウスの中は甘い香りが広がっています。

現在14アールのハウス（7品種45本）は受粉しやすい15〜20度に保たれ、交配用の蜜蜂が活発に活動しています。確実に結実させたい「佐藤錦」「紅秀峰」という品種は手作業で授粉作業を

行います。センターを管理するコロナファームの吉廣丈晴さんと3人のスタッフで、相性の良い「ナポレオン」の花粉を付けていきます。

収穫は6月上中旬で、センターに併設する販売所その他、雲南管内の農産物直売所にも出荷します。吉廣さんは「佐藤錦は味がバツグン。紅秀峰は大振りでもよく食べ応えがある。他に



▲手際よくサクランボの授粉作業をするスタッフ

も色々な種類があるのでぜひ味わって欲しい」と紹介しました。

06

研修で農業体験

雲南地区本部の新人職員は、4月24〜28日の5日間、吉田町の農事組合法人すがやで農作業を体験しました。同法人の錦織満代表理事組合長は「ものづくりは手作業が基礎であり、一つの作業には意味がある。それを考えながら研修に取り組んでほしい」と激励しました。

参加した6人は、ピーマン用のマルチ張りや田植えなどの農作業で汗を流しました。体験した

三原涼職員は「農作業は気持ちいい。この経験を今後に生かしたい」と意欲を見せました。



▲農作業体験で汗を流す農協職員

05

栽培説明会で地域貢献活動



▲熱心に聞き入る同クラブのメンバー

雲南地区本部営農部は4月17日、七福出雲そばクラブ主催の定例会でそばの栽培説明会を開きました。同クラブ小田川清部長からJAに依頼があり営農部錦織弘部長と農産課嵐谷康隆課長が講師として参加し、そばの特徴や土作り、耕種的防除について説明をしました。

同クラブは2010年から続く同好会が母体。雲南市木次

町などの住民24名で構成されており、斐伊交流センターでそば打ちをして食べたり、町内のイベントなどに参加し地元のそば粉を使った打ち立てのそばを提供します。

小田川部長は「メンバーが趣味の範囲で楽しんで活動することが目的です。要望があれば市外でも活動したい」と力強く語りました。

今年度は町内4地域の計約3ヘクタールで栽培を予定しており、将来は町内に拠点を作り町内外のイベントなど積極的に活動を続ける見通しです。

07

小6が卒業旅行 東京を満喫



▲旅行に参加した管内6年生の児童

雲南地区本部は3月27日から3日間、管内6年生の児童26人参加による「東京夢紀行」を開催しました。東京スカイツリーや東京ディズニーランドなどを観光し、思い出に残る日々を過ごしました。

■旅費を準備する「定期積金」があります。
（例）4年生時、積立て開始の場合：「2000円/月」で旅行代金をご準備することが可能です。詳しくは最寄りのJAまで。



「特集」担い手とJAをつなぐパイプ役

TAC活動で地域農業を

「もっとと元気に！」



TACは緑の下の力持ちとして担い手の皆さまを支える役割を担っています。
利用者の皆さまに「TACの活動をもっと知ってもらいたい!!」という思いから、担い手の生の声を次のページでご紹介します。

TACの意味

Team for Agricultural Coordination

TACのキャッチコピー

Tとことん、A会って、Cコミュニケーション!!

平成30年4月から、集落営農組織や認定農業者、農業法人で水田経営を主体に農業を営んでいる担い手へ、3人のTACが訪問しています。「吉田・掛合・頓原・赤来地区」「大東・加茂・木次・三刀屋地区」「仁多・横田地区」と3つの地区に分かれて訪問しており、得た情報をもとに事業提案を行ったり、土壌分析、集落営農の法人化のお手伝いなど、多岐に渡って活動をしています。担い手の農業所得の向上や担い手とJAを繋ぐ役割を担っています。



TACとは？

平成30年4月から、集落営農組織や認定農業者、農業法人で水田経営を主体に農業を営んでいる担い手へ、3人のTACが訪問しています。「吉田・掛合・頓原・赤来地区」「大東・加茂・木次・三刀屋地区」「仁多・横田地区」と3つの地区に分かれて訪問しており、得た情報をもとに事業提案を行ったり、土壌分析、集落営農の法人化のお手伝いなど、多岐に渡って活動をしています。担い手の農業所得の向上や担い手とJAを繋ぐ役割を担っています。

『元気に、もっと元気に！』がモットー



今年でTAC3年目
新田 大治 職員
吉田・掛合・頓原・赤来地区担当

平成30年という大きな節目に向け、水稲だけに頼らない農業を勤めています。今年はさらに新しい技術を習得していき、普及・拡大を目指します。法人同士の連携もとても重要になってきています。パイプ役として皆さんに有益な情報提供ができるよう努力しますのでよろしくお願い致します！



TACの主な活動

- 地域農業の担い手を訪問して意見・要望などニーズを把握し、これに誠実に応えること。
- 地域農業の担い手の経営に役立つ様々な情報を届けること。
- 地域農業の担い手の意見を持ち帰り、JAグループの業務改善に繋げること。

地区版



お話を伺ったのは…

飯南町 角井
農事組合法人 万場営農組合

大谷 善啓さん
よしひろ

肥料の設計や注文、事務処理などを担当

島根県は農業や化学肥料の使用量を抑えた環境にやさしい米作り(エコロジー米)を推奨しており、飯南町では町を上げて取り組んでいます。万場営農組合はこのエコロジー米の生産に取組まれる法人の一つで、現在14~15ヘクタールで栽培しています。



JAのイメージは？

【大谷】農協は今まで信用や共済が主で関わるのが少なかつたですが、TACという取り組みが始まり、営農関係で何かトラブルが起こった時に相談できるところとなりました。お世話になっていきます。

TACが来るようになってからコスト面から敬遠していた土作りを真剣に考えるようになりました。また、2年前自分の田んぼに藻が発生してしまつた時、担当地区が替わつたにもかかわらず、TAC職員が尽力する姿を見て、感銘を受けました。



TAC活動に一言

【大谷】担当の新田さんは知識もあり信頼できると思います。田んぼの土を作るときに「雲南土作り肥料」を使い、稲わらを

分解する酵素剤も入れることで稲の根張りが良くなり、さらにガス湧きによる根腐れがなくなり品質の向上、収量の拡大が出来ました。土に関しては以前から改良の余地はありましたが、コストがかかることと手間がかかるため足踏みをしていました。そんな時、新田さんがメーカーさんを連れて訪ねてこられたり親身になって対応をしてくれたことで、土壌改良の兆しが見え踏み切ることが出来ました。



共に農業の未来を考えます



より良い農業を目指して情報を共有します



TACの指導で特によかつたことは？

【大谷】2年前田んぼに藻が生えてしまい全滅。一時そばに切替えた時期もありました。

その時、新田さんのアドバイスから草が生える覚悟で田んぼの水を抜き、藻の発生を抑制しました。おかげさまで改善することが出来、28年産米の収量は良くなりました。ありがとうございます。

**TACは今日も担い手とJAをつなぐ
架け橋として活動しています**



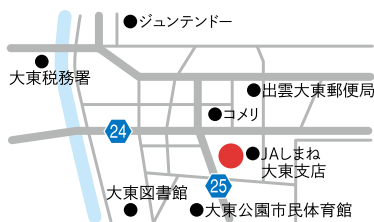
「大東モリモリ 奥出雲」



1. Aコープだいたう店内に店舗があります
2. オープンまでに沢山の商品が持ち込まれます
3. 新鮮で旬の野菜が手に入るのが醍醐味です
4. 山菜が並び季節を感じます
5. タケノコの季節が始まりました。おいそです

綺麗な店舗に 品質の良い出荷品 多くのお客が訪れる人気店

大東モリモリ奥出雲出荷者会(代表・足立和夫さん)の会員209人(5月1日現在)が出荷する「大東モリモリ奥出雲」は、Aコープだいたう店内に出店する直売所です。長らく市場出荷していた生産者がメインであることから、毎日、品質の良い農産物や加工品などが出品されます。



大東モリモリ奥出雲

TEL 0854-43-2033
 ④雲南市大東町大東2427-1
 (Aコープだいたう店内)
 ⑥9:00~20:00
 ④Aコープだいたうに準ずる

Daito Morimori Okuizumo



食は元気の源!私達の野菜で元氣になって欲しいです。

直売所コーナーがリニューアル。
各直売所に出品されている生産者の方にスポットを当ててご紹介します!

農アグリ

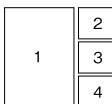
農ライフ

No-Agri No-Life (第2回)

雲南市大東町

曾田 滋子さん(83)

そた しげこ



1. 家から少し離れたところに畑があり、車で移動し世話をされています
2. 4月に植え始めた夏菊、7月頃には切り花として出荷できる見込みです
3. さっぱりとした酸味が特徴の大根の酢漬(左)、癖になる美味しさのウリの奈良漬(右上)、程よい辛さで食欲をそそるキュウリのからし漬(手前)
4. ブルーベリーの花。6~9月に収穫されドライフルーツとして加工したり青果として出品されます

目標は商品価値を高め より良い作物を届ける事

「ご主人が多忙だった為一時期農業から離れていましたが、平成23年から老老防止のため家庭菜園を再開しました。周りの農家さんやJA職員からの勧めで、平成25年8月から出荷を始めました。

漬け物は管理栄養士の資格を持っておられる息子のお嫁さんの助言で、味は格段に良くなったそうです。

人気No.1なのは菊の切り花。夏菊、秋菊、寒菊を出荷され7月~12月まで色とりどりの菊を楽しむことが出来ます。

曾田さんは「いくつになっても続けられるのが農業のいい所であり、なんといっても朝起きて収穫すると気持ちがいいです。実益を兼ねた生きがい・趣味として、出来る限り続けていきたい」と話してくれました。

うんなん 女子力



掲示板



JALまね雲南女性部の活動を中心に、
「女子力」あふれる楽しい話題をお届けします。

JA女性部は、昭和28年に、農村女性特有の課題を解決するために設立されたものです。
JA女性部の活動に賛同される方は、どなたでも(農業を営んでいなくても)加入できます!!
あなたも地域の仲間と一緒に活動してみませんか。

女性部 掲示板

フレッシュミズ

郷土料理を学ぼう! と き/4月20日(木) ところ/かもてらす



愛情たっぷりの料理を教わります

フレッシュミズは、4月20日今年度初めての活動として、女性部員を講師とし、料理教室を行いました。今回教わったのは、「郷土料理の焼きサバずし・和風牛ほうれんそうコロッケ・ほうじ茶ミルクプリンニンジンソース」の3品。参加した部員は、焼きサバを丁寧にほぐすことや、味付けなど教わりながら、一時間余りで仕上げました。

参加した部員は、「いつも寿司を作ると、味付けが決まらなくて困っていた。これからは、美味しく出来そう!」「サバを

加えることで、味が引き締る!」と話しました。

フレッシュミズでは、様々な活動を予定しています。また、奇数月にはベリーダンスを教わる予定です。これは、昨年の活動で行ったとき、部員の「とても楽しい!ぜひ定期的にやろう!!」という感想から計画しました。興味のある方は参加してみませんか?なお、活動予定は下記の通りです。

6月	イタリアンを学ぼう!
8月	ちゃぐりん&フレミズ交流会
10月	オリジナル器を作ろう
12月	筆文字教室
2月	レジンアクセサリーに挑戦!
奇数月	ベリーダンス教室

※変更になる場合があります。



●お問い合わせは、
雲南地区本部ふれあい課 ☎0854-42-9053まで。

第21回 JALまね雲南女性部総会 地域で輝く女性部へ

と き/4月26日(水) ところ/雲南地区本部



挨拶する高橋美智子部長

JALまね雲南女性部は4月26日、第21回総会を開きました。代議員やJA関係者ら約80人が出席し、「JA女性、ふみだす勇気、学ぼう・伝えよう・地域とともに!!」をテーマとし、女性部活動の輪を広げ、組織強化を実践することを申し合わせました。また、議案はすべて承認されました。

記念行事として、身体教育医学研究所うんなんの西川喜久子指導員に、「身体ほぐしストレッチ」を学びました。「女性は農作業や家事など、同じ体勢での作業が多い。作業の合間に身体をほぐすことで怪我や肩こりを防ぐことになる」と話しました。その後、「川の流れるように」に合わせて、太極拳を行いました。

第1回 食べま専科・育てま専科 畑作りと夏野菜苗の定植

と き/4月21日(金) ところ/雲南地区本部近くの畑



ナスの苗を定植する受講生

今年度第8期目となる、人気講座「食べま専科・育てま専科」が開校し、初回の4月21日は、畑作りと、夏野菜苗の定植に挑戦しました。受講生は、講師の指導で土づくりから畝たて、マルチ張りをした後ピーマンやトマト、スイカ等夏野菜の苗を定植しました。講師を務めるJA農産課職員は、「野菜作りは、か(観察)き(記録)く(工夫)け(健康)こ(行動)がとても重要!」だと話しました。野菜の成長を人間に例えた説明はとても分かりやすく、楽しい講義に笑い声も上がり、賑やかな教室となりました。

グリーンセンターだより

好評
発売中

非選択性茎葉処理除草剤

ザクサ
液剤

グルホシネートPナトリウム塩...11.5% 農林水産省登録 第22901号
ザグザ®はMeiji Seika ファルマ株式の登録商標



[500ml]
2,491円(税込)



[2L]
7,737円(税込)



[6L]
22,148円(税込)



[10L]
32,666円(税込)

100~200倍でたっぷり散布して下さい。
雨でも高い効果を発揮

薬剤散布後、1時間程度降雨がなければ効果に大きな影響はありません

天下無草!!ザクサ液剤の特長!!

- 一般雑草は当たり前、頑固な雑草にも強い!!
スギナ、ツクサ、クローバー等も100~150倍で!!
- 雨にも強い...散布後1時間あれば雨にも負けない!
- 薄めて使うから経済的!!→ジョウロでも散布可能!!
- あぜを崩さず、守って枯らす!!→面倒な田んぼ回りの除草を応援します!!
- 環境に優しい...土壌微生物で速やかに分解
→家庭菜園、お庭、庭木周りも安心・簡単!!

150倍 散布当日



スギナ拡大

7日後



スギナ拡大

雲南すずらん福祉センターだより

◆ヘルパー定例会◆

- ◎と き / 6月14日(水)9時~13時
- ◎と ころ / すずらん福祉センター会議室
- ◎内 容 / ケース検討会・意見交換会
- ご相談・お問い合わせは:雲南すずらん福祉センター ☎0854-429120

秋まき野菜栽培講習会の開催について

この度、よく売れる産直野菜の栽培研修を中心とした「秋まき野菜の栽培講習会」を開催いたします。また、併せて食品表示シール機をお持ちの方は「シール機のメンテナンス・表示の変更・追加」等をメーカーの方にきていただいで行いますので、シール機持参でご参加いただけますようご案内申し上げます。

【講習会内容】

- ◎JA 農産課からお知らせ(5分)
- ◎秋まき野菜栽培管理講習(60分)
「秋まき野菜の栽培管理」と売れ筋農産物の品種特性について紹介します。
- ◎エゴ農薬などの紹介と使用方法(20分)
安全・安心な農産物生産のために農薬の使用基準など上手に使うためのポイントを紹介します。
- ◎産直GAPの取組、安全衛生について(30分)

秋まき野菜栽培講習会日程表

月日	時間	地区	場所	お問い合わせ先
6月26日(月)	9:30~11:30	横田	JA横田支店会議室	奥出雲営農経済センター ☎52-1217
	13:00~15:00	仁多	JA仁多支店会議室	仁多生産センター ☎54-1355
6月27日(火)	9:30~11:30	赤来	JA赤来支店会議室	飯南営農経済センター ☎76-2967
	13:00~15:00	頓原	飯南町農業活性化センター	頓原グリーンセンター ☎72-1031
6月29日(木)	9:30~11:30	掛合	JA掛合支店会議室	中央営農経済センター掛合駐在 ☎62-0085
	13:00~15:00	吉田	JA雲南吉田支店会議室	吉田グリーンセンター ☎74-0133
6月30日(金)	9:30~11:30	三刀屋	三刀屋農村改善メインセンター	中央営農経済センター ☎42-9055
	13:00~15:00	木次	JA雲南地区本部会議室	農産課 ☎42-9115
7月3日(月)	9:30~11:30	大東	JA大東支店会議室	大東グリーンセンター ☎43-2003
	13:00~15:00	加茂	かもてらす研修室	中央営農経済センター ☎42-9055

※生産履歴簿の記載確認をいたしますので、ご持参ください。

※小型シール機発行機をお持ちの方はメンテナンス(掃除、登録変更等)を行いますので、ご持参ください。(保守契約が無い方は有料となります)

※シール機業者の直接対応となります。
◎シール機への追加登録や表示内容の修正が必要な方は、講習会開始時間より少し早めに会場へお越しください。

- 依頼退職(4月30日付) ▼大石信太郎(営農対策部 担い手対策課) ▼磯田美穂(企画総務部 事務センター)
- 契約期間満了(4月30日付) ▼藤原志真(共済部 共済課)

地区版



【第1回】年金手続きの勧め

まずは年金をもらい始める
年齢を知ろう

まずは自分が年金を何歳からもらい始めるのか正しく把握しましょう。性別・年齢によって異なります。

●会社勤め等の経験がある人は
年金受給開始が性別・生年月日により異なります

会社勤め等の経験が1年以上あるなど、一定の条件を満たす人は、60代前半からいわゆる「部分年金」(特別支給の老年厚生年金)をもらい始めます。ただし、その年齢に注意。かつてはだれもが「60歳から」でしたが、今は性別・生年月日によって受給開始年齢が異なります。

●65歳になると、
老齢基礎年金と老齢厚生年金が
もらえるようになります

65歳になればよいよ本格的に年金受給生活が始まります。1か月以上の会社勤め等の経験がある場合は、老齢基礎年金と老齢厚生年金が受け取れるようになります。ずっと専業主婦(夫)や自営業だった人は、この年齢から老齢基礎年金がもらえるようになります。

「あなたもチャレンジ!
家庭菜園」について

●茄子はあだ花が無いので花が咲けばすべて実になると思いきや大切にしてみました。

これからは「短花柱花」を見極め、追肥水分補給等、管理を十分にし、美味しい茄子を収穫したいと思います。目からウロコでした。

(奥出雲町・Fさん)

◎「あなたもチャレンジ!家庭菜園」のコーナーは反響の多いコーナーです。季節に合わせた作物の栽培方法や豆知識などがわかり易く紹介されていますので、参考にして頂ければうれしいです。また、新たに家庭菜園を始められるという方にもおすすめです。やりたいけどできてないという方は、

是非これを機に楽しみながら野菜作りしてみてくださいませんか?

本誌への感想

●JAが島根県1本になり随分遠い存在になった気がしていましたが、「雲南地区本部版」として発行され身近な情報を知ることが出来、心安く読ませていただいています。

(奥出雲町・Fさん)

◎利用者の方々に管内のニュースや催し物、季節に合わせた特集などを紹介できたらと思っています。JAを身近に感じて頂けるように、また、新しい発見につながるよう努力いたしますので、宜しくお願いします。



年金についてのご相談はJAで!
年金相談会のご案内

無料

- 仁多支店
6月7日(水) 10:00~15:00
- 掛合支店
6月8日(木) 15:00~19:00
- 頼原支店
6月21日(水) 10:00~15:00

◎お一人ひとりの相談会です。できるだけご予約下さい。
◎お問い合わせは、各支店窓口までお気軽にどうぞ。

あて先

本誌17頁「クロスワードパズル」コーナーの応募要項をご覧ください。このコーナーは皆さまからのお便りでつくるコーナーです。本誌17頁のクイズの答えにお便りを添えてDSDシご応募ください!◎おたより…JAに対するご意見・ご感想、よかった記事など教えてください。◎写真・絵手紙・イラスト…テーマは問いません。なお、作品は返却しませんので、ご了承ください。

たくさんのお便りお待ちしております!!



取材先を
募集しています!

「食」や「農業」に関する取組みやイベント、農家・団体など、知ってもらいたいと思われる情報をお待ちしております。担当者が取材に伺い、本広報誌「JAしまねびより」や日本農業新聞の記事として掲載させて頂きます。

お問い合わせ先/ふれあい課 TEL0854-42-9053 FAX0854-42-9100

6月の外勤日 14(水) 15(木) 16(金)

※支店によっては変更する場合があります。詳しくはお近くのJA窓口までお問合せ下さい。

ローン金利

商品	金利	
住宅ローン(保証料込・当初15年固定)	0.85%	
5月10日現在		
※JAではお子様の人数に応じて金利引下げを実施しております。その他、条件を満たした方はギフトカードが貰えるキャンペーンがあります。		
商品	初回の金利	
マイカーローン	固定型	1.45%
	変動型	1.40%
カードローン	変動型	7.10%
住宅ローン利用者向けカードローン	変動型	4.50%
5月1日現在		

※上記の金利は、他の引下げ項目も含め最大引下時の金利です。その他、様々な内容があります。詳しくはお近くのJA窓口まで。

●子牛市場成績表

中央「もちあい」の相場展開

地区名	種別	取引頭数	最高価格	最低価格	平均金額	平均体重	キロ単価
雲南地区本部	雌	36	986,040	496,800	752,970	270	2,793
	去	47	1,035,720	385,560	829,601	294	2,818
中央市場	雌	92	1,019,520	496,800	779,408	274	2,846
	雄	0	0	0	0	0	0
	去	128	1,035,720	385,560	844,594	295	2,861

平成29年4月の全国主要子牛市場平均価格は雌775.956円(前月比100%)、去勢903.243円(前月比100%)、計848.662円(前月比100%)と全国平均では「もちあい」の取引となっています。

畜産市況

4月





高温好みで 乾燥を嫌う、 サトイモ作り のポイント

板木技術士事務所 ● 板木利隆

山で採れる山芋に対し、人の住む里にできることからサトイモの名があり。原産はマレー半島付近の熱帯の多湿地。日本には中国を経て渡来、稲作以前は日本の主食であったとされる野菜の大先輩です。

主成分はでんぷん質。加熱すると糊化（こか）し消化吸収しやすくなり、カリウムが豊富に含まれ、意外に低カロリー。体脂肪や生活習慣病が気になる人にもお薦めです。

親芋が中心にあり、子芋、孫芋がその周りに付くサトイモには、通常子芋、孫芋を食べる子芋用と親芋を食べる親芋用、葉柄を食べる葉柄用があります。

通常は子芋用の「土垂」や「石川早生」などを選びますが、好みによって親芋用の「京いも」や親子兼用の「八つ頭」、葉柄用の「蓮芋」なども用います。

サトイモは連作障害が出やすい野菜なので、少なくとも3~4年作ったことのない場所を選んで栽培しましょう。

高温性で生育適温は25~30度、植え付けは十分に地温が上がってから、植え付けの深さは7~8cm。植え付けたら畝上にポリマルチをし、地温の上昇を図ります。

マルチの下で、芽が伸び始めたら遅れずにフィルムを破り芽を上へのぞかせます。

芽が勢い良く伸びだしたら、太い芽1本だけを伸ばし、小さな芽は早いうちにかき取ります。土寄せ前なら芽を倒して土で埋めてしまうのも良い方法です。

本葉が5~6枚になった頃、畝の通路側に肥料（1株当たり油かす大さじ3、化成肥料大さじ2が目安）をばらまいて、土と混ぜ合わせながら株元に土寄せをします。

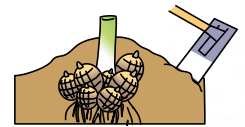
マルチフィルムは片寄せして作業し、再び覆います。土寄せの

厚さは4~5cm程度にし、2~3週間置きに3回ほど行います。第2、3回の土寄せの前にも第1回同様に追肥しますが、葉が茂り過ぎなら肥料は控えめにしてください。第3回はマルチを除去して作業します。あまり遅くまでマルチをしておくと高温と乾燥のために芽つぶれやひび割れなど、子芋の障害の原因になるので注意します。

サトイモは日照り不作といわれるほどに、夏の乾燥には弱いです。降雨が少なく、土が乾き過ぎるようでしたら灌水（かんすい）を心掛けます。

例年乾きが激しい畑には作付けしない方が良いでしょう。

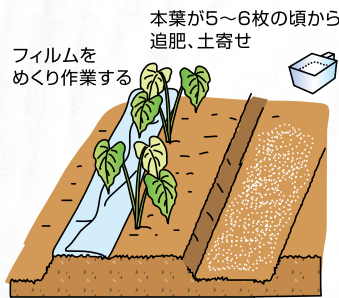
※関東南部以西の平たん地を基準に記事を作成しています。



肥料を埋めるように通路の土を株元に寄せる

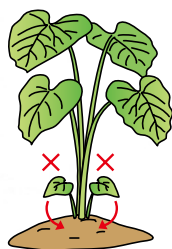


芽かき、土寄せが足りないと細長い不良品が多くなる



本葉が5~6枚の頃から追肥、土寄せ

フィルムをめぐり作業する



脇芽を取り除くか埋める

順調な育ち
花の上方に数枚の葉が付いている



健全花（長花柱花）



栄養不良の育ち
花が先端近くに付いている



不良花（短花柱花）



栄養不良になったら思い切って若取りする

【訂正とお詫び】
4月号のイラストに誤りがございました。訂正済みイラストを掲載するとともにお詫び申し上げます。

タテのカギ



- ①井戸などでくみ上げて使います
- ④土を小高く盛り上げたもの
- ⑥人がたくさん住んでいます
- ⑦車に乗って出掛けます
- ⑨孫悟空の乗り物です
- ⑪中国の——に由来することわざは多い
- ⑫まき割りや枝打ちに使う刃物
- ⑮東南アジアの国。首都はクアラルンプール
- ⑰人を怒らせることを「——に触れる」ともいいます
- ⑲インドから伝わる心身調整法
- ⑳太陽や星がよく見える天候
- ㉑台所ですることの一つ

ヨコのカギ



- ①端午の節句に食べます
- ②映画の撮影時にカチンと鳴らします
- ③人事——で所属部署が変わった
- ④二つで1組のものを数えるときに使う言葉
- ⑤初節句に——飾りとこいのぼりを用意した
- ⑧野球の走者のこと
- ⑩家を留守にする際は忘れずに
- ⑬袖振り合うも——の縁
- ⑭チョウの仲間。カラス、アオスジといえは
- ⑯ボルトやナットを回す工具
- ⑰すし屋の符丁で茶のこと
- ⑲布地を裁断した物

二重マスの文字を A ~ F の順に並べて
できる言葉は何でしょうか？

1	6	9		14	18	21
2			11		19	
		10		15		
3	7			16		22
	8		12			
4			13		20	
5				17		

答え

A	B	C	D	E	F
---	---	---	---	---	---

応募要項

- 応募方法 ハガキに、答え、住所、氏名、年齢、電話番号、本誌に関するご意見・ご感想を記入して、下記宛先にお送りください。
- 賞品 正解者の中から抽選で地区本部毎に5名の方に「JA商品券」をお贈りします。
- 当選者発表 賞品の発送をもってかえさせていただきます。
- 宛先・締切 〒699-1395 雲南市木次町里方1088-6
JAしまね 雲南地区本部 ふれあい課「クイズ」係
平成29年6月5日(月)(当日消印有効)

◆先月号の答え◆ 「ランドセル」

ホ	タ	ル	イ	カ	チ
ヨ	ビ	キ	ソ	ド	
チ	リ	ア	オ	ノ	リ
ヤ	マ	ン	キ	ア	
ク	レ	ナ	イ	ハ	シ
セ	イ	イ	バ	ー	
キ	タ	カ	ラ	ブ	ネ

・お預かりした個人情報、プレゼントの抽選・発送以外の目的で利用することはございません。

健康散歩 JA島根厚生連

サルコペニアを予防しよう

皆さん「サルコペニア」という言葉をご存知ですか。人間誰しも、年齢を重ねると身体機能が衰えていきます。なかでも、骨、関節、筋肉の部位になんらかの支障をきたして運動障害がひき起こされる状態を「ロコモティブシンドローム」といい、特に著しく筋肉量が減少してしまいう状態を「サルコペニア」といいます。このような状態は歩行障害や転倒といった要支援・要介護のきっかけとなるため、豊かな日常生活をおくるためには予防対策が非常に重要となります。

サルコペニアは、「歩く速度」、「握力」、「筋肉量」などを測定して診断します。これを自分で調べる場合、「①歩くのが遅くなった。(横断歩道を青信号のうちに渡りきれない)」、「②手すりにつかまらないうち階段を上がれない」、「③ペットボトルのキャップが開けにくくなった」、「④重いものを持ち上げられない」などの項目が判断の目安となります。

サルコペニアの予防は、食事と運動の改善が必要です。食事は筋肉を作るのに欠かせない「たんぱく質」、「ビタミンD」、「アミノ酸」などの栄養素を摂ることが重要です。まぐろやかつおなど赤身の魚、レバーなど赤身の肉、卵、大豆製品、乳製品などがオススメです。運動は、筋力トレーニングで筋肉量を維持・増加させることが重要です。腕立て伏せや腹筋・背筋などができれば理想的です。しかし、なかなか難しいという方は、つま先立ちや片足立ちであったり、椅子に座った状態でのつま先上げ・かかと上げなど、少しの時間でも日常生活のなかでこまめに行うことが大切です。筋肉は加齢に伴って減る反面、運動や食事の工夫次第で高齢になっても増やすことができます。皆さんもこれを機会に見直してみたいかがでしょうか。



理事会情報 (3月29日開催)

- 協議事項**
- ① 平成29年度県域品目販売手数料について
 - ② 平成28年度JAしまね農業振興支援事業最終申請(第6回(3月))について
 - ③ 平成29年度補助事業の実施計画について
 - ④ 農業ICTの取り組みについて
 - ⑤ 平成27年度産島根米共同計算収支の概況について
 - ⑥ 平成27年度産飼料用米の最終精算について
 - ⑦ 平成28年度産備蓄米の最終精算について
 - ⑧ 平成28年度産島根米「買取制度」中間総括について
 - ⑨ 平成28年度産島根米買取販売における収益および費用の配賦方法ならびに配賦率について
 - ⑩ 雲南畜産総合センターの12月末実績報告と運営計画の見直しについて
 - ⑪ 県央地区畜産総合センター運営規程の制定について
 - ⑫ 全農農業経営規程設置に係るJAしまね総代会決議(特別決議)について
 - ⑬ 葬祭具利用料の変更および葬祭具利用管理規程の一部改正について
 - ⑭ 平成29年度余裕金運用について
 - ⑮ 平成29年度第1四半期の余裕金運用計画額および運用方針について
 - ⑯ 自動車損害調査体制の再構築にかかる対応方針について
 - ⑰ 組合と理事との取引(契約)の承認について
 - ⑱ 平成29年度における各種限度額について
 - ⑲ 平成29年度コンプライアンス・プログラムについて
 - ⑳ 平成29年度個人情報保護計画について
 - ㉑ JA全国監査機構による期中改善指示事項(期中監査)に対する回答について
 - ㉒ 機構改革によるリスク管理基本方針等の改正について
 - ㉓ 平成29年度事業収支計画について
 - ㉔ 島根県中央酪農農業協同組合連合会の株式会社化に伴う全農保有株式の譲受について
 - ㉕ 平成28年度下期分出口数減少(減口)の承認について
 - ㉖ 組合員の加入時における出資基準にかかる整理について
 - ㉗ JA運営への女性参画にかかる女性総代拡大の取り組みについて
 - ㉘ 平成29年度地区本部総代説明会の開催について
 - ㉙ JAしまね福祉事業に関する運営規程の一部改正について
 - ㉚ JAしまね第1号訪問事業および第1号通所事業に関する運営規程の設定について
 - ㉛ 雲南地区本部高齢者福祉事業に関する運営規程の一部改正について
 - ㉜ 雲南地区本部障がい者福祉事業に関する運営規程の設定について
 - ㉝ 平成29年度地域貢献・地域活性化支援事業について
 - ㉞ 地域・農業活性化積立金を活用したJA共済連助成制度の平成29年度活用方針について
 - ㉟ 平成29年度JAしまね「日本農業新聞」普及方針について
 - ㊱ 平成29年度JAしまね「家の光三誌」普及方針について
 - ㊲ 新人事制度施行に伴う統一規程等の設定および改正について
- 報告事項**
- ① 平成29年度島根県農業政策および予算に関する要望書への県回答について
 - ② 島根県農林水産部とJAグループ島根との意見交換会の報告
 - ③ 平成29年度地域品目販売手数料について
 - ④ 「農業戦略実践3カ年営農計画」の実現に向けた進捗管理方法について
 - ⑤ 平成28年度産島根米求評懇談会時における意見・要望等について
 - ⑥ 米穀園芸情勢について
 - ⑦ 加工原料乳補給金制度改革をめぐる直近の情勢と今後の取り組みについて
 - ⑧ 畜産情勢について
 - ⑨ 出雲地区本部の葬祭会館開設について
 - ⑩ 平成29年度共済新契約目標について
 - ⑪ 平成28年度認定反社会的勢力の定期報告について
 - ⑫ 事務ミス報告について
 - ⑬ 平成29年2月末月次決算報告について
 - ⑭ Aコープでの総合ポイント付与基準の変更について
 - ⑮ 「JAしまねの運営にかかる調査・研究・検討」のすすめ方と体制の考え方について
 - ⑯ T P P運動の総括について
 - ⑰ 平成29年度主な会議日程について
 - ⑱ 役員報酬審議会の協議状況について
 - ⑲ 労働組合からの春闘・年度末一時金要求書の提出について
 - ⑳ 平成29年3月1日付け本店人事異動について
 - ㉑ 平成29年度監事監査計画について
 - ㉒ その他(女性理事活動報告)

知って納得JA

—協同組合の力—

Q 「協同組合」がユネスコ「無形文化遺産」に登録されたのはなぜ?

A 協同組合の精神とその実践が認められたからです。

協同組合は、より良い暮らしの実現のために組合員が結集することで成り立つ組織です。現在、世界100カ国以上で10億人、日本では約6,500万人がJAや漁業協同組合(JF)、生活協同組合(生協)などの協同組合に結集し、社会の発展に大きな役割を果たしています。

「協同組合において共通の理念を形にするという思想と実践」が国際連合教育科学文化機関(ユネスコ)に認められ2016年11月、無形文化遺産に登録されました。これは、世界的に評価されたのと同時に、その思想と実践を次世代に引き継ぐ必要があることを意味します。組合員一人一人が協同組合の価値を再認識し、力を合わせて活動を続けていくことが欠かせません。(監修=広島大学 助教 小林元)

日本の協同組合

約 **6,500** 万人

組合員数*

事業高

約 **16** 兆円

店舗・施設

約 **35,600** カ所

世界の協同組合

組合員数

事業高*

約 **10** 億人

約 **292** 兆円

IYC記念全国協議会資料より

*1 一人の組合員が複数の協同組合に加入している場合は、その数を計上しています。

*2 1ドル=115.15円で換算(2017年1月20日)

IYC記念全国協議会

ホームページはこちら ▶▶▶



耕そう、大地と地域のみらい。



JALしまね

あなたのスマホも



格安スマホに

お申し込みはJALしまねのホームページから

JALしまね スマホ

検索



<http://ja-shimane.jp/smartphone/>

さらに今なら
5/31(水)
までに

JALしまねホームページよりOCN契約番号を教えていただいた方全員に

おさいふカード
ポイント

3,000ポイントプレゼント!!



ご質問
お問合せ

生活事業部 店舗生活課

☎0853-25-8907

・くまびき地区本部
生活福祉部 生活総合課
☎0852-55-3040

・やすぎ地区本部 生活燃料課

☎0854-28-7200

・岡崎地区本部 経済部

☎08512-2-1133

・隠岐どうぜん地区本部 経済部

☎08514-7-8005

・出雲地区本部
生活部生活用品課

☎0853-21-6058

・斐川地区本部 生活部 生活課

☎0853-73-9622

・石見銀山地区本部 生活典礼課

☎0854-84-9071

・島根おち地区本部
生活部 総合生活課

☎0855-95-3601

・いわみ中央地区本部
営農経済部 経済企画課

☎0855-22-8823

・西いわみ地区本部
営農経済部 経済課

☎0856-23-0933

・有限会社 サンコープ雲南
生活課

☎0854-45-3336

出会いの
きっかけに



しまね
縁結び
サポートセンター

はぴこ・しまね縁結びサポートセンター

へご相談ください

結婚を考えている方へ

「今まで出会いがなくて・・・」「真剣に結婚を考えてみようかな・・・」そんなあなたに無料で相談に応じます。結婚したい気持ちはあっても、いざ婚活となると何からはじめていいのか分からなかったり、どこに相談すればいいのかと悩んでいる人はとても多いのでは。まずは、お気軽に「はぴこ」に相談してみませんか？

はぴことは？

「はぴこ」とは、一般社団法人しまね縁結びサポートセンターに登録された、結婚を望む独身男女の縁結びを応援するボランティアです。（正式名称「島根はぴこーでいねーたー」）結婚を望む独身男女の相談に応じ、出会いのきっかけづくりをします。

はぴこ交流サロンとは？

はぴこ交流サロンは、縁結びボランティア「はぴこ」が開催する無料の結婚相談会です。

松江センター

〒690-0887
島根県松江市殿町8-3
タウンプラザしまね2F
☎0852-61-1150

浜田センター

〒697-0016
島根県浜田市野原町1826-1
いわみーる2F
☎0855-25-1150

はぴこによる結婚相談会

- 安来** 日時／毎月第2日曜日 10:00～12:00 場所／カフェ・ローチ
問い合わせ▶安来市定住企画課 ☎0854・23・3059
- 松江** 日時／毎月第3日曜日 10:00～12:00 場所／サンラポーむらくも
問い合わせ▶金崎 ☎080・1648・6053
- 雲南** 日時／毎月第4土曜日 10:00～13:00 場所／Aコープますき2階会議室
問い合わせ▶福岡 ☎0854・43・3687
- 奥出雲** 日時／毎月第2日曜日 10:00～12:00
場所／雲州そば伝統産業会館(奇数月)、奥出雲町社協仁多事務所(偶数月)
日時／毎月第2火曜日 13:30～15:30 場所／奥出雲町社協仁多事務所
問い合わせ▶渡部 ☎080・2882・3307
- 出雲** 日時／毎月第2土曜日 9:30～12:30
場所／出雲市男女共同参画センター(くすのきプラザ)
問い合わせ▶出雲はぴこ事務局 ☎080・2887・3865 (10～18時)
- 大田** 日時／毎月第2金曜日 19:00～21:00 場所／大田商工会議所
問い合わせ▶大田はぴこ事務局 ☎080・2940・7266 (10～18時)
- 江津** 日時／毎月第2水曜日 19:00～21:00 場所／じばさんセンター-café楼co.
日時／毎月第4土曜日 15:00～17:00 場所／パレットこうつ
問い合わせ▶盆子原 ☎090・4144・9780
- 浜田** 日時／毎月第4金曜日 18:00～20:00 場所／浜田公民館
問い合わせ▶岡本 ☎0855・23・1430 **★事前予約が必要です**
- 益田** 日時／毎月第2土曜日 10:00～12:00、19:00～20:00
場所／EAGA2階会議室
問い合わせ▶金本 ☎090・7542・7554 **★事前予約が必要です**

※日時や会場は変更になる場合があります。はぴこのサポートを申し込む場合は、運転免許証等ご本人と住所が確認できるものと、写真(上半身、全身各1枚)をお持ちください。

グリーンアスパラサラダ



春先しか食べられないアスパラガスのきれいな緑が引き立つように赤や黄色を色よく取り入れた春らしいサラダです。アスパラの甘味が口いっぱい広がります。

●材料 (4人分)

グリーンアスパラ……………2束	コブドレッシング
鶏むね肉……………1/2枚	マヨネーズ……………大さじ2
プチトマト……………8個	トマトケチャップ…小さじ1
パプリカ……………1/4個	ピーナッツバター…小さじ2
レタス……………3枚	(チリペッパー ……少々)
	コショウ……………少々

●作り方

- ①アスパラガスは、はかまを取って根元を切り、3～4等分に切ってラップをしてレンジで1分加熱する。
- ②鶏むね肉は、軽く塩、こしょうしてラップに包みレンジで6分加熱する。
- ③ミニトマトは1/4に切る。
- ④パプリカは細い千切りにする。レタスは手でちぎる。
- ⑤材料をすべて混ぜ合わせ皿に盛る。
- ⑥ドレッシングの材料を混ぜ合わせ食べる直前に⑤にかける。チリペッパーはお好みでどうぞ。(少し辛くなります)

新ジャガイモのピリ辛揚げ



春先に出回る新じゃがいもは、水分が多いのでみずみずしく皮が食べられます。水っぽいのだからりと揚げ、味付けはしっかりとつけるとおいしいので豆板醤を使いピリ辛な中華風にしています。

●材料 (4人分)

新じゃがいも(小) …… 12個	しょうゆ……………大さじ1と1/2
ブロッコリー……………1/6株	砂糖……………大さじ2/3
揚げ油……………適量	豆板醤……………小さじ1
	白すりごま……………大さじ2～3

●作り方

- ①ボールに調味料を入れ混ぜる。
- ②ブロッコリーは小房に切り、さっとゆでザルにあげる。
- ③じゃがいもはよく洗い水気をふき、中温でじゃがいもをゆっくり揚げる。
- ④じゃがいもに火が通ったら熱いうちに調味料の中に入れ味をからめる。
- ⑤ブロッコリーも入れさっと混ぜ合わせる。

表紙紹介

表紙のイラストは野々村 直通 (ののむらなおみち) 先生に描いていただいています。

今月の表紙は、江津市桜江町を流れる江の川を泳ぐ鯉のぼりです。こどもの日が近づく、150匹余りの色とりどりの鯉が春のさわやかな風を受けながら泳ぎだします。また、毎年5月5日に同地域で行われる川戸水神祭りは約500年の伝統がある神事で、神輿を乗せた川船が鯉のぼりの泳ぐ大岩あたりまでパレードします。

編集後記

野々村先生に描いて頂いた今月の表紙イラストを見て、私がか子供の頃、祖父が鯉のぼりを上げてくれていたのを懐かしく思い出しました。そんな私も今月で2回目の成人式を迎えました。年月が経つのは早いものですね。(藤)

【今月の表紙の原画】

レイアウトの都合により表紙のイラストは原画の一部表示となっています。原画の全体は次のとおりです。

